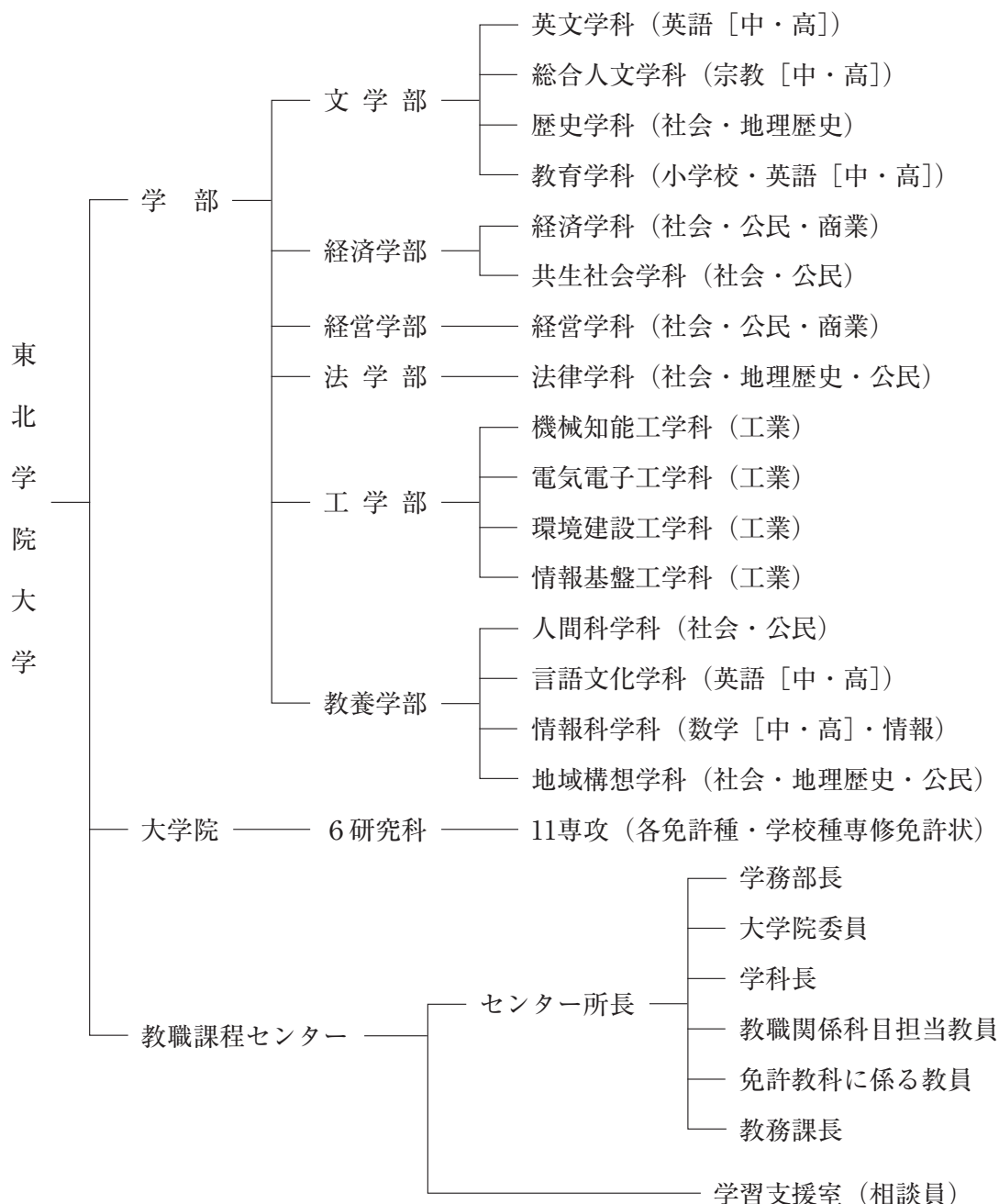


2. 本学における教員養成教育の組織（と教育）について

(1) 教員養成教育の組織

東北学院大学は、学務部長、教職関係科目担当教員、免許教科に係る教員および各学科長等から構成される教職課程センターを全学組織として設置しています。本学は同センターを中心に各学科に設置された教職課程を運営し、全学的な支援のもとで教員養成教育に当たっています。その組織図は以下の通りです。



また、教育課程センターは教職を目指す学生の学習を支援する機能を併せもっています。同センターでは、相談員による教職相談や学習支援、学外の各機関との連携を通じた教員採用や学校ボランティア等に関する情報収集・提供等の活動により、正規カリキュラム外での教員養成教育も行っています。

なお教職課程センターの詳細については、東北学院大学ホームページよりご覧ください。

(2) 教員養成教育にあたる教員

【専任】

氏名	阿久戸 義 愛
所属	文学部 総合人文学科
学位	博士（文学）
主な教育研究上の業績	阿久戸義愛 令和2年（2020）「キリスト教の世界観」国士舘大学哲学会『国士舘哲学』第24号（令和2年3月） 阿久戸義愛 平成26年（2014）「新渡戸稲造における品性の教育：礼儀正しさ（politeness）を中心に」筑波大学『倫理学』第30号、45-56 阿久戸義愛 平成23年（2011）「恵みの契約の共同体的位相——カール・バルト『教会教義学』『和解論』を中心として——」筑波大学学位論文 阿久戸義愛 平成22年（2010）「バルト神学における倫理学の方法論」筑波大学『倫理学』第26号、25-32
主な担当科目	「宗教科教育法」「キリスト教教育」「キリスト教倫理」

氏名	石 田 弘 隆
所属	教養学部 情報科学科
学位	博士（理学）
主な教育研究上の業績	石田弘隆、西澤由輔（2018）「数学科目におけるWebclassを用いたCBTの実施」『宇部工業高等専門学校研究報告』第64号、19-25
主な担当科目	「教科教育研究Ⅳ」

氏名	泉山靖人
所属	教養学部 人間科学科
学位	修士(教育学)
主な教育研究上の業績	<p>泉山靖人 (2019) 「第5章 教育に関する法規」紺野 祐ほか編著『教育の原理：子供・学校・社会をみつめなおす』学術出版会、99-121</p> <p>泉山靖人 (2015) 「指定管理者制度を通じた地方自治体とNPOの協働——川崎市およびNPO法人フリースペースたまりばの関係に着目して——」科学研究費補助金研究成果報告書『子ども・青少年育成活動における自治体行政とNPOの協働に関する日英比較研究 研究成果報告書』98-116</p> <p>泉山靖人 (2013) 「専門職制の強化と市民協働」日本教育制度学会編『現代教育制度改革への提言 下巻』東信堂、112-127</p> <p>泉山靖人 (2013) 「東日本大震災被災地における自治体とNPOの協働～陸前高田市の図書館サービスをめぐって～」日本教育制度学会編『教育制度学研究』20号、133-138</p>
主な担当科目	「教育の制度と経営」「教職実践演習」

氏名	稲垣 忠
所属	文学部 教育学科
学位	博士(情報学)
主な教育研究上の業績	<p>稲垣 忠(担当：編訳)・A. コリンズ& R. ハルバーソン著 令和2年(2020) デジタル社会の学びのかたち Ver.2：教育とテクノロジーの新たな関係、北大路書房、197p</p> <p>稲垣 忠(編者) 令和2年(2020) 探究する学びをデザインする！情報活用型プロジェクト学習ガイドブック、明治図書出版、136p</p> <p>堀田龍也、為田裕行、稲垣 忠、佐藤靖泰、安藤明伸(共著) 令和2年(2020) 学校アップデート、さくら社、56-64</p> <p>稲垣 忠(編者) 令和元年(2019) 教育の方法と技術～主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン、北大路書房、244p</p> <p>稲垣 忠ほか5名による共著 令和元年(2019) 学校および家庭における適応学習の実践と評価、日本教育工学会論文誌 巻42号4、345-354</p>
主な担当科目	「教育方法」「教職実践演習」

氏名	大迫章史
所属	教養学部 人間科学科
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>大迫章史 「総力戦体制下におけるカトリック高等女学校のキリスト教教育」日本カトリック教育学会『カトリック教育研究』第37号、2020年、13-23頁。</p> <p>大迫章史 「教育に関する制度と教育をめぐる動向」（第6章第1節～第4節）紺野祐、泉山靖人、大迫章史、小池孝範、清多英羽、吉植庄栄、奥井現理著『教育の原理：子供・学校・社会をみつめなおす』学術出版会、2019年、123-135頁。</p> <p>大迫章史 「日本における学力向上施策と生涯学力——福井県・秋田県を事例に——」前田耕司、佐藤千津編著『学校学力から生涯学力へ——変化の時代を生きる——』学文社、2011年、45-61頁。</p>
主な担当科目	「教育課程論」「教育の制度と経営」「現代教職論」

氏名	大友麻子
所属	文学部 教育学科
学位	博士（国際文化）
主な教育研究上の業績	<p>大友麻子（2019）「英語音声への気づきを促すための一試案」『東北学院大学文学部教育学科論集』1、pp. 57-72.</p> <p>大友麻子（2018）「英語コミュニケーション能力の高め方——多読・多聴による理解力向上」村野井仁編『コアカリキュラム準拠 小学校の英語教育の基礎知識』pp. 118-126、東京：大修館書店。</p> <p>上白石実・大友麻子・新沼史和・藤原正義（2018）「教職実践演習（中・高）の取り組みと課題」『盛岡大学盛岡大学短期大学部教職研究』1、pp. 91-98.</p>
主な担当科目	「教育英語学概論」「教科教育法Ⅲ（英語）」

氏名	加藤 健二
所属	教養学部 人間科学科
学位	文学修士
主な教育研究上の業績	<p>Otake, K. & Kato, K. (2016). Subjective Happiness and Emotional Responsiveness to Food Stimuli. <i>Journal of Happiness Studies</i>, 1-16.</p> <p>加藤健二 平成27年 (2015) 「タクシー運転手の距離認知特性」『東北学院大学教養学部論集』第170号、東北学院大学学術研究会、13-25</p> <p>加藤健二 平成26年 (2014) 「共食時に互いの親密性を強く感じることで食物に感じるおいしさは高まる」『日本味と匂学会誌』20巻3号、日本味と匂学会、295-298</p> <p>加藤健二 平成26年 (2014) 「おいしさとイメージ」『イメージ心理学研究』第10巻、日本イメージ心理学会、29-32</p>
主な担当科目	「教育心理学」「認知心理学」「心理学研究法」

氏名	加藤 卓
所属	文学部 教育学科
学位	修士 (教育学)
主な教育研究上の業績	<p>加藤 卓ほか (2020) 『教育現場で役立つ情報リテラシー』 3章「Excel～会計処理文書の作成・成績処理」実教出版、48-111</p> <p>加藤 卓ほか (2019) 『教科指導法シリーズ 改訂第2版 小学校指導法 算数』 9章「変化と関係」玉川大学出版部、159-183</p> <p>TAKASHI KATOU, (2020) “Effects of diagrams showing relationships between variables in solutions to problems concerning Speed.” GDM-Onlinetagung 2020 (OITa) (Übertragung zum GDM 2019 an der Universität Regensburg), Beitrage zum Mathematikunterricht 2020, PP481-484</p>
主な担当科目	「算数概説」「初等教科教育法 (算数)」「ICT教育実践」

氏名	紺野 祐
所属	文学部 教育学科
学位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>紺野 祐（共著）平成31年（2019）『教育の原理：子供・学校・社会をみつめなおす』学術出版会</p> <p>紺野 祐 平成30年（2018）「よりよい共同体を目指す道德教育：『C 主として集団や社会との関わりに関すること』」笹田博通ほか編著『考える道德教育：「道德科」の授業づくり』福村出版、86-96</p> <p>紺野 祐 平成29年（2017）「教え行動における教師のベネフィットについて：教育の理念と実際に関する一考察」『教育思想』第44号、東北教育哲学教育史学会、1-19</p> <p>紺野 祐 平成27年（2015）「教育の意味と必要性への問い：教育人間学の思想」笹田博通編著『教育的思考の歩み』ナカニシヤ出版、183-198</p>
主な担当科目	「教育基礎論」「教育原論」「道德教育の理論と方法」「教職実践演習（中・高）」

氏名	坂本 泰伸
所属	教養学部 情報科学科
学位	博士（学術）新潟大学
主な教育研究上の業績	<p>“The Development of New e-learning Cycles based on the Aggregated Highlighting Information” Okada Takeshi and Yasunobu Sakamoto 19th European Conference on e-Learning ECEL 2020, Oct.28-30 (Virtual Conference), 2020</p> <p>伊藤千瑛、坂本泰伸（2020年2月8日）高等学校教科「情報Ⅰ」における「モデル化とシミュレーション」の教材開発に向けた調査報告、2019年度情報処理学会東北支部研究会、資料番号2-3（全5頁）、東北学院大学。</p> <p>“Dynamic lesson planning in EFL reading classes through a new e-learning system”, Takeshi Okada and Yasunobu Sakamoto, Proceedings of the 2015 EUROCALL Conference, Padova, Italy, pp.444-449, 2015 Research-publishing.net. doi=10.14705/rpnet.2015.000373</p> <p>“The LMS development for a blended EFL e-learning.” Takeshi Okada and Yasunobu Sakamoto Proceedings of the 2014 EUROCALL conference, Groningen, Netherlands, pp.273-277, 2014. Research-publishing.net. doi:10.14705/rpnet.2014.000230</p>
主な担当科目	「コンピュータと論理B」「教科教育法Ⅰ・Ⅲ（情報）」

氏名	佐藤正寿
所属	文学部 教育学科
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>佐藤正寿（2020）『社会の授業Q & A』明治図書、P224</p> <p>佐藤正寿（2020）「学級通信の発行に関する教師の意識」、日本学級経営学会『日本学級経営学会誌』第2巻、P9-12</p> <p>佐藤正寿（2019）「授業技術」、高橋 純『教育方法とカリキュラムマネジメント』学文社、P72-84</p> <p>佐藤正寿（2019）「授業における発問と指示」、堀田龍也・佐藤和紀『情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術』三省堂、P56-71</p>
主な担当科目	「現代教職論」「初等教科教育法（社会）」「学級経営論」

氏名	清水貴裕
所属	教養学部 人間科学科
学位	博士（心理学）
主な教育研究上の業績	<p>清水貴裕（2020）「臨床で用いられる心理検査」内山 靖、藤井浩美、立石雅子編『リハベーシック心理学・臨床心理学』医歯薬出版株式会社、88-95.</p> <p>Takahiro Shimizu (2016). Role of beliefs about hypnotic states as a moderator variable: A re-examination of the relationship between reactance and hypnotizability, <i>International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis</i>, 64, 167-186.</p> <p>富永 舞・清水貴裕（2016）適応指導教室における不登校生徒の対人関係の広がりに関する研究——指導員の関わりとその働きに着目して——、秋田大学臨床心理相談紀要、第15巻、33-41.</p> <p>清水貴裕（2014）「カウンセリングⅠ——基本的な理論と方法」黒田祐二編著『実践につながる教育相談』北樹出版、108~120.</p>
主な担当科目	「教育相談の理論と方法」「生徒指導・進路指導の理論と方法」「教職実践演習（中・高）」「教育コミュニケーション論」

氏名	清水 遥
所属	文学部 教育学科
学位	博士（言語学）
主な教育研究上の業績	<p>Shimizu, H. & Hoshino, Y. (2019) Sense categorization of polysemy by Japanese EFL learners: The influences of extensive reading. <i>ARELE</i>, 30, 97-112.</p> <p>星野由子・清水 遥（2019）「小学校外国語・外国語活動で扱われるカタカナ語——日本語と英語の語義の比較分析を通して——」. <i>JES Journal</i>, 19, 117-127.</p> <p>清水 遥（2018）「小学校外国語教育の評価」（pp. 92-105）, 「クラスルーム・イングリッシュ」（pp. 106-112）. 村野井仁（編著）『コア・カリキュラム準拠 小学校英語教育の基礎知識』大修館書店</p> <p>清水 遥（2018）「関連領域から見る初等外国語教育」（pp. 37-48）. 卯城祐司（編著）『MINERVAはじめて学ぶ教科教育⑤ 初等外国語教育』ミネルヴァ書房</p>
主な担当科目	「児童英語概説」「初等教科教育法（英語）」

氏名	清多 英羽
所属	文学部 教育学科
学位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>紺野祐他（2019）「教育の原理 子供・学校・社会をみつめなおす」学術出版会、143-165</p> <p>清多英羽（2019）「教育哲学研究におけるフィヒテ教師論の現代的意義」、1-28</p> <p>笹田博通他編（2018）「考える道徳教育 「道徳科」の授業づくり」福村出版、119-126</p>
主な担当科目	「教育基礎論」「道徳教育の理論と方法」「教職実践演習（中・高）」

氏名	高橋千枝
所属	文学部 教育学科
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>高橋千枝（2018）第10章仲間関係・きょうだい関係の発達、野島一彦・繁榊算男監修本郷一夫編『公認心理師の理論と実践12 発達心理学』遠見書房、133-146.</p> <p>高橋千枝・谷田順子（2016）「生活科における気付きを深めるプロセスと指導について——集団活動と教師の働きかけが児童の思考に与える影響——」『地域学論集（鳥取大学地域学部紀要）』第13巻、第2号、79-85.</p> <p>本郷一夫・高橋千枝ほか（2016）「保育場面における「気になる」子どもの社会性発達——「社会性発達チェックリストから捉える「気になる」子どもの特徴」『臨床発達心理実践研究』第11巻、第2号、85-91.</p>
主な担当科目	「教育心理学」「生活概説」「家庭概説」「初等教科教育法（生活）」

氏名	坪田益美
所属	教養学部 人間科学科
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>坪田益美（2017）「社会科における持続可能な社会づくりに向けた社会認識の形成」井田仁康編著『教科教育におけるESDの実践と課題～地理・歴史・公民・社会科～』古今書院、167-183.</p> <p>坪田益美（2018）「多文化共生・ダイバーシティ社会に向けた見方・考え方の育成——『見えないマイノリティ』の人びとに焦点を当てて——」江口勇治監修・編著『21世紀に求められる「社会的な見方・考え方』』帝国書院、234-243頁。</p> <p>坪田益美（2018）「小学校における異文化間交流」村野井仁編著『小学校英語教育の基礎知識』大修館書店、222-231頁。</p>
主な担当科目	「教育課程論」「社会・公民科教育法（概論・理論）」「教科教育法Ⅱ・Ⅲ（社会・公民）」「教職実践演習（中・高）」「教育実習Ⅰ・Ⅱ」

氏名	長島康雄
所属	文学部 教育学科
学位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>長島康雄（2020）新型コロナウイルス感染拡大をふまえた小学校・中学校理科カリキュラムへの「免疫」の位置づけに関する検討. 日本科学教育学会第44回年会論文集. pp. 281-284.</p> <p>長島康雄（2018）屋外の学校施設設備の安全管理に求められる要件. 日本義務教育学会紀要. 第2巻. pp. 17-26</p> <p>長島康雄・高瀬 博（2017）道徳教育の実践の場としての特別活動研究の課題. 関東学園大学紀要. Liberal arts 第25号. pp. 100-108</p>
主な担当科目	「理科教育法」「初等理科教育法」「特別活動・総合的な学習の理論と方法」

氏名	萩原俊彦
所属	教養学部 人間科学科
学位	博士（心理学）
主な教育研究上の業績	<p>萩原俊彦・畔田博文 令和元（2019）年 「高等専門学校1年生におけるキャリア意識と職業興味の関係」『キャリアデザイン研究』Vol.15、日本キャリアデザイン学会、209-215</p> <p>萩原俊彦 平成29（2017）年 第7章「キャリア教育——自分らしい生き方を作り上げるために——」藤田哲也（監修）、水野治久・本田真大・串崎真志（編著）『絶対役立つ教育相談——学校現場の今に向き合う——』ミネルヴァ書房、95-106</p> <p>萩原俊彦 平成25（2013）年 第6章「児童期の社会性の発達」櫻井茂男・佐藤有耕（編）『スタンダード発達心理学（ライブラリストンダード心理学=7）』サイエンス社、123-137</p> <p>萩原俊彦ほか7名（櫻井茂男・葉山大地・鈴木高志・倉住友恵・萩原俊彦・鈴木みゆき・大内晶子・及川千都子）平成23（2011）年 「他者のポジティブ感情への共感的感情反応と向社会的行動、攻撃行動との関係」『心理学研究』82巻2号、日本心理学会、123-131</p>
主な担当科目	「教育心理学」「発達心理学」「心理学実験実習B（心理的アセスメント）」

氏名	坂内昌徳
所属	教養学部 言語文化学科
学位	博士（情報科学）
主な教育研究上の業績	<p>坂内昌徳. 2018年. 「日本語母語話者による英語の『除去』を表す動詞の習得過程について」東北学院大学教養学部論集 第181号 (p. 19-35)</p> <p>Bannai, Masanori 平成27年 (2015). Locative alternation in the interlanguage of Japanese-speaking learners of English. 人間情報学研究第20巻 (p. 11-27), 東北学院大学人間情報学研究所.</p> <p>坂内昌徳. 平成25年 (2013). 英語多読のすすめ——第二言語習得から見たその効果——. 東北学院大学英語英文学研究所紀要第38号 (p. 21-36)</p> <p>Bannai, Masanori (2011). The nature of variable sensitivity to agreement violations in L2 English. <i>EUROSLA Yearbook 11</i>, (p. 115-137). John Benjamins Publishing Company.</p>
主な担当科目	「教科教育法Ⅲ（英語）」

氏名	平野幹雄
所属	教養学部 人間科学科
学位	博士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>平野幹雄 (2020) 記憶・学習. 内山 靖・藤井浩美・立石雅子編. リハビリシク心理学・臨床心理学. PP40-47. 医歯薬出版.</p> <p>平野幹雄 (2020) 被災地における多動性、衝動性が見られる子どもの理解と支援者支援. 一般社団法人日本臨床発達心理士認定運営機構編. 臨床発達心理士わかりやすい資格案内第4版. pp. 70-74. 金子書房</p> <p>鈴木 徹・平野幹雄 (2018) 自閉症スペクトラム障害児における自己／他者理解の程度と社会的相互作用との関連. 自閉症スペクトラム研究, 16(1), 67-72.</p> <p>平野幹雄ら (2012) 「高機能自閉症及びアスペルガー症候群の子どもを対象とした、放課後支援を通じた社会性発達支援に関する実践的研究」『宮城教育大学特別支援教育総合研究センター紀要』、第7集、69-76</p>
主な担当科目	「教育心理学」「教職実践演習（中・高）」

氏名	星野真樹
所属	教養学部 情報科学科
学位	博士（理学）
主な教育研究上の業績	<p>星野真樹、公理的手法を用いた負の数に対する演算の指導法、東北学院大学教養学部論集第178号 平成29（2017）年12月 1-13頁</p> <p>Masaki Hoshino, Eiji Yanagida, Convergence rate to singular steady states in a semilinear parabolic equation, Nonlinear Anal. 131 平成28（2016）年 pp. 98-111</p> <p>星野真樹、摂動を加えた2階のオイラー型常微分方程式に対する解の漸近挙動、東北学院大学教養学部論集第168号 平成26（2014）年8月 43-50</p> <p>Masaki Hoshino, QUENCHING RATE OF SOLUTIONS FOR A SEMILINEAR PARABOLIC EQUATION, Advances in Differential Equations 16. 平成21（2011）年 pp. 401-434</p>
主な担当科目	「フーリエ解析」「数理的思考の基礎」「教科教育法Ⅰ（数学）」

氏名	松本進乃助
所属	文学部 教育学科
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>松本進乃助（2020）「スウェーデン王国の音楽科教育」吉富功修・三村真弓編『小学校音楽科教育法——学力の構築をめざして——』第4版、ふくろう出版、142-144</p> <p>松本進乃助（2016）「スウェーデンの学習サークルにおける音楽学習の実態——国民大学マルメ支部の視察を通して——」『音楽教育実践ジャーナル』vol.14、58-67</p> <p>松本進乃助ほか（2015）「常葉大学教育学部附属橘小学校におけるオーケストラ学習が育む音楽能力——聴取力に着目した音楽科学力調査の結果から——」、音楽学習学会誌『音楽学習研究』第10巻、29-38</p>
主な担当科目	「音楽概説」「初等教科教育法（音楽）」「音楽（器楽）」

氏名	村野井 仁
所属	文学部 教育学科
学位	Ph. D (言語学)
主な教育研究上の業績	<p>白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則 (2019) 『英語教育用語辞典第3版』大修館書店</p> <p>村野井仁 (編著) (2018) 『コア・カリキュラム準拠小学校英語教育の基礎知識』大修館書店</p> <p>村野井仁 (編集代表) (2017-19) 『高等学校外国語科用文部科学省検定済教科書 <i>Genius English Communication I-III Revised</i>』大修館書店</p> <p>村野井仁・渡部良典・尾関直子・富田祐一 (2012) 『統合的英語科教育法』成美堂</p> <p>Muranoi, Hitoshi (2007). Output practice in the L2 classroom. In R. DeKeyser (Ed.), <i>Practice is a second language: Perspectives from applied linguistics and cognitive psychology</i> (pp. 51-84). Cambridge UP.</p>
主な担当科目	「英語教育学概論」「英語科教育法 (概論)」「教育英文法 I・II」

氏名	吉村 富美子
所属	文学部 英文学科
学位	Master of Arts (Linguistics)
主な教育研究上の業績	<p>吉村富美子. (2018). 「英語コミュニケーション能力の高め方」村野井仁編『コアカリキュラム準拠 小学校の英語教育の基礎知識』(p.p. 127-136). 東京: 大修館書店.</p> <p>吉村富美子. (2013). 『英文ライティングと引用の作法——盗用と言われないための英文指導』東京: 研究社.</p> <p>Yoshimura, F. (2018). Another possible reason for plagiarism: Task representations of summary writing. <i>TESL-EJ (The Electronic Journal for English as a Second Language)</i>, 22 (3).</p> <p>Yoshimura, F. (2011). A scaffolding English writing course for Japanese university students. <i>JACET Journal</i>, 53, 109-124.</p>
主な担当科目	「英語科教育法 (概論)」「教科教育法 II・III (英語)」 「英語教育学 I・II」「Academic Writing III・IV」

氏名	渡部友子
所属	教養学部 言語文化学科
学位	Ph. D. (英語応用言語学)
主な教育研究上の業績	<p>渡部友子 平成30 (2018) 年 「第11章 英文法」村野井仁編著『コア・カリキュラム準拠 小学校英語教育の基礎知識』(大修館書店)、161-175.</p> <p>渡部友子 平成29 (2017) 年 「英語を英語に翻訳する：言語学習の手段としての言語内翻訳」『日本英語コミュニケーション学会紀要』第26巻1号、67-75.</p> <p>渡部友子 平成29 (2017) 年 「中学校の英語教科書を批判的に見る：なぜ学びが深まらないのか」『東北学院大学教養学部論集』第178号、29-40.</p> <p>渡部友子 平成27 (2015) 年 「どうすれば英語が身につくのか：英語を学習する高校生向けの話」『東北学院大学教養学部論集』第172号、95-107.</p>
主な担当科目	「教科教育法Ⅰ (英語)」「教科教育法Ⅱ (英語)」「言語習得論」

氏名	渡辺通子
所属	文学部 教育学科
学位	修士 (教育学)
主な教育研究上の業績	<p>渡辺通子 2020年 「西尾実のコミュニケーション教育論「健全な世論の形成」の方向性——話し言葉と文化の関係を中心に——」『東北学院大学教育学科論集』第2号、25-44.</p> <p>渡辺通子 令和元年 (2019) 「東日本大震災と『命をつなぐ単元学習——津波・TSUNAMI 日本国語教育学会』『月刊国語教育研究』第568号、4-9.</p> <p>渡辺通子 平成30年 (2018) 「コミュニケーションの力」『言語活動中心 国語概説——小学校教師を目指す人のために』学文社、96-103.</p> <p>渡辺通子 平成30年 (2018) 「1930年代におけるコミュニケーション教育の方向性に関する考察——標準語教育政策と柳田国男の話し言葉教育論」『2018中国文化大学日本語日本文学系国際学術検討会論文集』124-132.</p>
主な担当科目	「現代教職論」「教職実践演習 (中・高)」「初等教科教育法 (国語)」

【兼任（非常勤）】

氏名	安倍啓司
所属	
学位	経済学士
主な教育研究上の業績	平成27～29年 宮城県仙台市立八幡小学校長 平成24～26年 宮城県仙台市立田子小学校長 平成22～23年 宮城県仙台市立上杉山通小学校教頭 平成21～29年 仙台白百合女子大学非常勤講師 「特別活動の指導法」
主な担当科目	「特別活動の理論と方法」

氏名	池田東照
所属	
学位	修士（学術）
主な教育研究上の業績	平成24年～平成27年 宮城県大河原商業高等学校長 東北六県商業教育研究会副会長 全国商業高等学校長協会理事 平成22年～平成24年 宮城県鹿島台商業高等学校長 平成15年～平成16年 仙台市教育局学校教育部教育指導課主任指導主事 (高校教育担当) 平成13年～平成15年 仙台市教育局学校教育部教育センター主任指導主事 (情報研修班担当)
主な担当科目	「職業指導Ⅰ・Ⅱ」「教科教育法Ⅰ・Ⅲ（商業）」「情報社会と情報倫理」 「情報と職業」

氏名	石井裕明
所属	
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>石井裕明（2018）「体育科の指導と課題」鈴木 隆 須賀一好 花屋道子編著『「主体的・対話的で深い学び」の教育』東北文教大学出版会、117-124</p> <p>石井裕明（2018）「体の諸機能の発達と生活習慣の形成」大桃伸一 佐東 治 奥山優佳編著『幼児教育の探求』東北文教大学出版会、95-105</p> <p>石井裕明（2012）「器械運動における技達成度と授業の志向性について」『東北文教大学・東北文教大学短期大学部 教育研究』第3号、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、9-19</p>
主な担当科目	「初等教科教育法（体育）」

氏名	石垣和恵
所属	
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>大竹美登利・鈴木真由子・綿引伴子・石垣和恵他（2018）「小学校家庭科教育法」建帛社、91-102</p> <p>富田道子・小谷教子・石垣和恵他（2020）「家庭科ユニバーサルデザイン学習を活かした減災教育プランの実践」、石垣和恵・森山春花（2018）「高等学校家庭科における調理実習指導の実態」東北家庭科教育研究第17号、16-23</p> <p>生田英輔・石垣和恵・大竹美登利他（2018）「東日本大震災時の東松島市における学校避難所の運営」東日本大震災特別論文集第7号、25-28</p> <p>富田道子・石垣和恵・齋藤美保子・小谷教子（2018）「教員養成系大学の家政教育における人権意識を高める授業デザイン：アセスメントのための指標に着目して」広島都市学園大学子ども教育学部紀要、第5号第1巻、1-9 地域安全学会論文集第36号、55-63</p>
主な担当科目	「初等教科教育法（家庭）」

氏名	市川 尚
所属	
学位	博士（学術）
主な教育研究上の業績	市川 尚・根本淳子（編著）鈴木克明（監訳）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房、平成28年 ライゲルスほか（著）林雄介・鈴木克明（監訳）『インストラクショナルデザインの理論とモデル：共通知識基盤の構築に向けて』北大路書房、市川担当：第10章、第16章、平成28年 稲垣 忠・鈴木克明（編著）『授業設計マニュアル ver.2』北大路書房、市川担当：第3章、第5章、第10章、平成27年
主な担当科目	「教育の方法と技術」

氏名	遠藤 恵利子
所属	
学位	教育学士
主な教育研究上の業績	平成30年4月～ 仙台市小学校教科指導員として小学校現場の外国語授業作りの指導に当たる。東北学院大学、宮城教育大学で免許更新講座（小学校外国語活動実践）等の講師。 平成30年（2018年）まで、小学校教諭として勤務し、後半の16年間は、小学校外国語（英語）教育の研究実践に当たる。 平成27年2月 全国英語教育実践研究大会仙台大会授業公開 （仙台市立向山小学校にて） 平成18年 文部科学大臣教員表彰 平成17年 仙台市立公立学校教職員表彰
主な担当科目	「初等教科教育法（英語）」「小学校英語教育実践Ⅰ・Ⅱ」

氏名	大沼 透
所属	
学位	文学士
主な教育研究上の業績	<p>平成29年～令和2年 東北学院大学 教職課程センター・学習支援室 客員相談員（教職教養及び小学校全科担当）</p> <p>平成27年～28年 宮城県栗原市立築館小学校（校長）</p> <p>平成25年～26年 宮城県東部教育事務所 登米地域事務所（所長）</p> <p>平成23年～24年 宮城県北部教育事務所・学事班長（管理主事）</p> <p>平成22年 宮城県北部教育事務所・指導班長（指導主事）</p> <p>平成21年 宮城県北部教育事務所 栗原地域事務所・副参事 （指導主事）</p> <p>平成19年～20年 宮城県栗原市立宮野小学校（校長）</p> <p>平成16年～18年 宮城県教育庁義務教育課・課長補佐（指導主事）</p>
主な担当科目	「生徒指導・進路指導の理論と方法」

氏名	及川 美美子
所属	
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>及川美美子 平成30年 「道徳教育の指導法に関する一考察——指導の方向性や指導構想・展開の仕方について——」盛岡大学・盛岡大学短期大学部「教職研究」創刊号、47-60</p> <p>及川美美子 平成30年 「学校の評価・自己点検マニュアル」追録第18号（「新教育課程の編成とカリキュラム・マネジメントの点検・評価」）ぎょうせい、413・10-15</p> <p>及川美美子 平成28年 「学校の評価・自己点検マニュアル」追録第16号（「学年・学級経営の点検・評価」）ぎょうせい、375・2-11</p>
主な担当科目	「特別活動の理論と方法」

氏名	上之郷 高 志
所属	
学位	博士（理学）
主な教育研究上の業績	<p>上之郷高志 平成20（2008）年 「小摂動項の及ぼす解の到達時間差の評価」『京都大学数理解析研究所講究録』1582「関数方程式論におけるモデリングと複素解析」、80-86</p> <p>上之郷高志 平成13（2001）年 「Kneser family in infinite-dimensional spaces」『Nonlinear Analysis Theory, Methods & Appl.』45 n.5, 613-627</p> <p>上之郷高志、菊地紀夫 平成9（1997）年 「Kneser's property and mapping degree to multi-valued Poincare map described by a semilinear parabolic partial differential equation」『Nonlinear World』4, 381-390</p>
主な担当科目	「線形代数学Ⅲ」「数理的思考の基礎」「教科教育法Ⅲ（数学）」

氏名	河 合 規 仁
所属	
学位	修士（美術）
主な教育研究上の業績	<p>河合規仁（2018）「幼児教育における粘土造形表現の現状と課題」2018/03『東北文教大学東北文教大学短期大学部教育研究』8号 pp. 1-22</p> <p>河合規仁（2014）「対話型鑑賞会（ギャラリートーク）の意義について」『東北文教大学東北文教大学短期大学部教育研究』第6号 pp. 1-5</p> <p>河合規仁（2014）「保育の中で造形作品を鑑賞する意義について：保育者研修の試行」2014『東北文教大学東北文教大学短期大学部紀要』第6号 pp. 17-27</p> <p>河合規仁（2012）「臨床美術アートプログラムにおける「アナログ表現」の研究——「アナログ表現」における抽象的表現の効用——」『東北文教大学・東北文教大学短期大学部紀要』第2号 pp. 17-23</p>
主な担当科目	「初等教科教育法（図画工作）」「図画工作概説」

氏名	菊地茂樹
所属	
学位	教育学士
主な教育研究上の業績	平成20～23年 宮城県利府高等学校長 平成17～20年 宮城県教育庁スポーツ健康課長 平成13～17年 宮城県古川女子高等学校長（現古川黎明中学校・高等学校）
主な担当科目	「教育課程論」「社会・地理歴史科教育法（概論・理論）」「教育実習Ⅰ・Ⅱ」

氏名	今藤紀雄
所属	
学位	文学士
主な教育研究上の業績	平成22～24年 宮城県第二工業高等学校長 平成19～22年 大崎市立志田小学校長 平成16～19年 加美町立小野田小学校長 平成14～16年 宮城県古川高等学校教頭 平成12～14年 宮城県教育研修センター指導主事 教職研修部（英語科担当） 平成7～12年 仙台市教育局学校教育センター指導主事 教職研修班・教科研修班（英語科担当）
主な担当科目	「現代教職論」

氏名	佐藤 邦宏
所属	
学位	教育学士
主な教育研究上の業績	平成28年～平成30年 宮城県仙台市立第二中学校校長 平成24年～平成28年 宮城県仙台市立南小泉中学校校長 平成21年～平成24年 宮城県仙台市立田子中学校校長
主な担当科目	「特別活動の理論と方法」

氏名	佐藤 俊隆
所属	
学位	文学士
主な教育研究上の業績	平成24年～25年 宮城県名取市立増田中学校校長 平成22年～23年 宮城県白石市立白石中学校校長 平成22年11月5日 文部科学省指定（学力向上実践研究推進事業実践校） 公開研究会開催 平成19年～21年 宮城県蔵王町立円田中学校校長 平成17年～18年 宮城県教育庁義務教育課課長補佐 平成18年度宮城県学習状況調査結果報告書編集 平成17・18年度宮城県小学校英語教育推進事業 小学校英語活動実践事例集編集 平成13年～14年 宮城県仙台教育事務所指導主事
主な担当科目	「特別活動の理論と方法」

氏名	佐藤靖泰
所属	
学位	教職修士（専門職）
主な教育研究上の業績	<p>令和2年4月～ 仙台白百合学園ICT教育アドバイザー 令和元年8月～ 令和2年3月 経済産業省「未来の教室 実証事業」教育コーチ 平成30年6月～ フューチャーインスティテュート株式会社 教育コンサルタント 現職</p> <p>平成30年4月～ 宮城県教育庁義務教育課指導班 主幹（指導主事） 平成29年4月～ 宮城県総合教育センター 主幹（指導主事） 平成28年4月～ 富谷市立明石台小学校 主幹教諭 平成27年1月 平成26年度文部科学大臣優秀教職員表 平成26年1月 平成25年度宮城県公立学校等職員表彰（優秀職員）</p> <p>堀田龍也（東北大学）稲垣 忠（東北学院大学）安藤明伸（宮城教育大学）為田裕行、佐藤靖泰（フューチャーインスティテュート株式会社）「学校アップデート～情報化に対応した整備のための手引き」令和2年、66-119</p> <p>佐藤靖泰（フューチャーインスティテュート株式会社）「授業支援システムを活用した一人一台時代の道徳科の授業改善」『道徳教育 12月号No.738』令和元年、66-67</p> <p>佐藤靖泰（フューチャーインスティテュート株式会社）村上 壮（凸版印刷株式会社）「被災地における適応学習教材の活用」『学習情報研究2019年11月号』令和元年、10-13</p> <p>稲垣 忠（東北学院大学）編著 「教育の方法と技術 主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン」平成31年、第14章</p>
主な担当科目	「教育の方法と技術」

氏名	白鳥智之
所属	
学位	経済学士
主な教育研究上の業績	平成31年～令和2年 東北学院大学 教職課程センター・学習支援室 客員相談員（小学校全科担当） 平成28年～30年 宮城県栗原市立若柳小学校（校長） 平成26年～27年 栗原市教育委員会教育部（次長） 平成25年 宮城県総合教育センター・副参事（指導主事） 平成24年 宮城県教育研修センター・副参事（指導主事） 平成22年～23年 宮城県大崎市立大貫小学校（校長） 平成19年～21年 宮城県教育庁義務教育課・課長補佐（指導主事）
主な担当科目	「生徒指導・進路指導の理論と方法」

氏名	鈴木朝二
所属	
学位	教育学士
主な教育研究上の業績	平成27年～平成28年 塩竈市立玉川中学校長 平成25年～平成26年 多賀城市立東豊中学校長 平成16年～平成18年 宮城県教育庁高校教育課課長補佐
主な担当科目	「教科教育法Ⅰ（社会・公民）」「教科教育法Ⅱ（社会・公民）」 「教科教育法Ⅲ（社会・公民）」「教育実習Ⅰ（社会）」

氏名	中村 修
所属	
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>中村修他 令和元年（2019）「進路指導の理論と方法」長谷川啓三他編著『事例に学ぶ 生徒指導・進路指導・教育相談 中学校・高等学校編第3版』遠見書房、172-189</p> <p>中村 修 平成31年（2019）「現代社会と心の健康」木村進他編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 改訂版』八千代出版、184-214</p> <p>中村 修 平成25年（2013）「先生だって大変だ」沼山博他編著『新訂 子どもとかかわる人のための心理学——発達心理学、保育の心理学への扉』萌林書林、207-210</p>
主な担当科目	<p>「生徒指導・進路指導の理論と方法」</p> <p>「生徒指導・進路指導の理論と方法（初等教育）」</p>

氏名	早川 典子
所属	
学位	社会学士
主な教育研究上の業績	<p>宮城県総合教育センター 心理相談員</p> <p>仙台市スクールカウンセラー・スーパーヴァイザー</p> <p>宮城県仙台教育事務所専門カウンセラー</p>
主な担当科目	「教育相談の理論と方法」

氏名	富士原 紀 絵
所属	
学位	修士（教育学）
主な教育研究上の業績	<p>富士原紀絵他（2020）「CD科が学校のカリキュラムづくりに示唆するもの」明石書店、pp. 184-190</p> <p>富士原紀絵他（2019）「教育課程をめぐる今日の動向(1)——教育課程の研究校制度——」ミネルヴァ書房、pp. 153-166</p> <p>富士原紀絵他（2015）「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」文部科学省、pp. 155-162、421-423、429-435</p> <p>富士原紀絵他（2011）「カリキュラムを動的に動かす視点と取組——教科・道徳・特別活動の関係」ぎょうせい、pp. 44-64</p>
主な担当科目	「教育課程論」

氏名	水 田 恵 三
所属	尚綱学院大学 総合人間科学部
学位	文学修士
主な教育研究上の業績	<p>不登校を考える 川島一夫・勝倉孝治 編著 平成16年（2004）臨床心理学から見た生活指導・教育相談 おうふう pp. 104-130</p> <p>平成25年（2013）から 仙台市学校生活支援巡回相談員</p>
主な担当科目	「教育相談の理論と方法」

氏名	森 武彦
所属	
学位	工学修士
主な教育研究上の業績	平成24（2012）年4月1日～平成26（2014）年3月31日 宮城県工業高等学校 校長 東北地区工業高等学校長会 会長 全国工業高等学校長会 理事 平成21（2009）年4月1日～平成24（2012）年3月31日 宮城県古川工業高等学校 校長 平成19（2007）年4月1日～平成21（2009）年3月31日 宮城県教育庁高校教育課 課長補佐、職業教育班 班長
主な担当科目	「教科教育法Ⅰ・Ⅲ（工業）」「教育実習Ⅰ」「工業技術概論」 「生産システム」「技術者倫理」

氏名	山田 嘉明
所属	
学位	博士（医学）、文学修士
主な教育研究上の業績	鹿野裕美、関戸好子、山田嘉明、桂 晶子、伊藤常久 平成27年（2015）：中一ギャップ支援のための縦横的ヘルスケアシステムの先駆モデル開発，平成23年度科学研究費助成事業研究成果報告書（基盤研究（C））. 鹿野裕美、山田嘉明、関戸好子、桂 晶子、伊藤常久、佐々木奈緒 平成27年（2015）：アクションリサーチによる中一ギャップ支援プロセスの解明——養護ヘルスケアモデルの構築に向けて——、日本健康相談活動学会第11回学術集会（名古屋）. 鹿野裕美、桂 晶子、山田嘉明、関戸好子 平成25年（2013）：中一ギャップ支援のためのヘルスケアシステムの実践的展開、第22回日本健康教育学会学術集会（千葉）. 山田嘉明 平成25年（2013）「人間活動と発達、ハビリテーション」中村隆一・佐直信彦（編）『入門リハビリテーション概論』第7版増補、医歯薬出版、65-88. 鹿野裕美、山田嘉明 平成23年（2011）：保健室に来室する「中一ギャップ」の生徒の実態とその対応に関する調査. 公衆衛生情報みやぎ、409号、11-14.
主な担当科目	「教育相談の理論と方法」

氏名	山田 春樹
所属	
学位	博士（理学）
主な教育研究上の業績	<p>宮城県数学教育研究会会長 2007年～2012年 宮城教育大学附属小学校長 2007年～2010年 宮城県・仙台市教育職員免許法認定講習講師 2002年度、2005年度、2007年度 宮城教育大学付属中学校公開研究会（数学）共同研究者 2003年度、2005年度 算数・数学教育における比例的推論の役割——家庭科教科書の分析を通して—— 平成16年（2004）. 10. 日本数学教育学会第37回数学教育論文発表会論文集： 共著（萬 伸介、田端輝彦、森岡正臣、吾妻一興、瓜生 等、山田春樹） 二等辺三角形が教えることがら——内在する比例に注目して—— 平成15年（2003）. 10. 日本数学教育学会第36回数学教育論文発表会論文集： 共著（萬 伸介、田端輝彦、森岡正臣、吾妻一興、瓜生等、山田春樹） 積分と逆関数 単著 平成15年（2003）. 3. 宮城県高等学校数学教育研究会研究集録</p>
主な担当科目	「教科教育法Ⅱ（数学）」

氏名	吉田 剛
所属	
学位	博士（学校教育学）
主な教育研究上の業績	<p><u>吉田 剛</u>・山口美空 2020年：香港中学校歴史カリキュラム2016年試案の方向——我が国の中学校社会科歴史カリキュラム2017年版への示唆——. 宮城教育大学教員キャリア研究機構、研究紀要 第2巻、pp. 71-82. <u>吉田 剛</u>ほか5名 2020年：大学院生と現職教員によるICT活用を重視した高等学校社会系強化の授業設計. 宮城教育大学情報処理センター紀要No.27、pp. 79-88. <u>吉田 剛</u> 2019年：高等学校地理教育の課題と展開——新しい時代の地理授業へ——. 新地理（日本地理教育学会）、第67巻2号、pp. 43-48.</p>
主な担当科目	「教科教育法Ⅱ・Ⅲ（社会・地理歴史）」